

田中内閣が、金解禁の断行を表明し一途これが解決に向って進進した。はげだし欲なしとはい。

決口内閣の政治的偉業は、従って、

第一に金解禁の断行に依る小政金融ブルジョアシーの権威である。このためには一般大衆の生活と程度に苛減した大衆に介せざるが如くである。

第二に産業の合理的政策に依る資本の集中、トラスティ化、コンツェルン化等々の促進である。産業能率の増進に藉口して、合理的の権威を助長し、労働人口の逐利、會社の功下げ、資本の攻勢を展開せんとするのである。

第三に無産階級の懐柔策に基づく産業平和の確立である。労働階級の上乗、労働費の買収に依って、搾取の道程を田中内閣はなうしむべき社会政策を投げかけやうとするのである。

田中内閣はさう政治的使命に依って専ら権力に操らんとした。決口内閣は同じ理由に依って専ら平和的手段に執らうとする。前者が鬼面喝喝に依ってなしたところを後者は唯唯笑に依ってなさうとするに過ぎない。後が資本主義の本念と、その建設的果敢とが、今や、田中内閣の創を導いて、決口内閣の「礼節」

田中内閣の... 田中内閣の... 田中内閣の...

正に天網の巻に逆しいものであつた。大衆の生活また裁判なき放漫政策の政に何等の安全と約束されなかつた。とりわけ「唯唯」の政策——苛酷な改革も、杜撰と無定見の泥濘的の運びなつた。かくして田中内閣は権力の放恣的濫用と、政治の利権化と、一政のジゴマ政治とに依って、かつて見ざる醜態なる政界の汚辱を招いた以外に何ものをも為し得なかつた。

然るに内閣は如何？、「政治の公明」に依り、「細心の修正」に依り、新に民心を捕縛しつゝある。然しこれば、即ちの尙する急務資本集に依って、労働人口の逐利に對して、中小商工業者の没落に對して、何等これを救済すべき積極の方策を講ずることを出発ない。とりて人は、田中内閣に對する反動に逆みず、その限りに於て砂上に築かれた権威に過ぎない。

田中内閣より決口内閣の本質的同一性を究て、田中内閣より決口内